第 19 号

令和４年度　長崎市立長崎中学校　学校だより

一歩前進

R5.1.10　発行
校長：種吉　信二

長中は生徒の挑戦を応援します

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いします。

年末年始は天候にも恵まれ、穏やかな気持ちで新年を迎えられたのではないでしょうか。

令和４年度も２か月余りと残り少なくなりました。本校の課題である「自ら考え、判断し、表現するタフな生徒」の育成に向けて生徒の自律を高めることを念頭に教育活動を展開してまいります。始業式では、生徒に挑戦することについて以下のことを話しました。

みなさんは社会福祉法人　南高愛隣会を知っていますか。何をしている団体かを理解してもらうためにまずは動画を見てください。

（南高愛隣会：ミッションストーリー「生きる誇りへの、挑戦。」
https://www.youtube.com/watch?v=aYuweMJ5TGc&t=168s　）

南高愛隣会は障害者の自立支援をしている団体です。障害があることで自分をあきらめてしまうことないよう理想をかなえる挑戦を応援しています。「障害があっても生かされる人間ではなく自ら生きる人間に」「常識や制度にとらわれず思い切って挑戦してきた」「夢や希望を叶えるために一歩踏み出すこと」そして「どんな小さな一歩も愛しい挑戦」ということを基本理念としています。何より一人一人の生きる誇りを追究することを大切にしています。欧米では障害のある人のことを「チャレンジド」挑戦者たちと呼ぶそうです。

このビデオを見て障害がある人もない人も、一人一人がまさにチャレンジドとなり今をそして未来を主体的に生きることの大切さを感じました。みなさんはどうだったでしょうか。

長中には、挑戦する生徒の皆さんを見守り支える先生方がいます。一緒に挑戦しようとする仲間もいます。理想や夢は簡単に実現しないから価値があるし、もしかしたら一生追い続けるものかもしれません。それが「生きる誇り」につながると信じています。ですから中学時代は失敗を恐れずに挑戦することを学んでください。挑戦には失敗はつきものです。人の失敗を笑うのではなく、挑戦をたたえ合える集団であってほしいと願います。その思いを表す動画をもう一つ見てください。

（AC ジャパン「たたくより、たたえ合おう」
https://www.ad-c.or.jp/campaign/self_all/self_all_01.html）

挑戦する人はみんな輝いている。私はそんな人は大人でも子供でもリスペクト（尊敬）します。「不可能の反対語は可能ではない挑戦だ」黒人初のメジャーリーガーのジャッキー・ロビンソンの言葉です。人種差別の壁を乗り越えて理想の社会の実現のために挑戦した人の言葉は実に重く、勇気を与えてくれます。

ご家庭におかれましてもお子様の挑戦を認め、励ましてくださるようお願いします。

感染症対策を怠りなく行いましょう

今年になって新型コロナウイルス感染症の新規感染者が３，０００人を超える日が続いています。また、インフルエンザの流行期にも入ってきていています。どちらの感染症も予防は同じで、睡眠や栄養をしっかり取って体力を落とさないこと、飛沫感染を防ぐためのマスク着用や定期的な換気、接触感染を防ぐための手指消毒や３０秒以上の石鹸での手洗いなどを行うことです。学びを止めないよう今後とも対策をしっかりと行っていきますのでご協力よろしくお願いします。

生徒会役員と学級委員の任命を行いました

本校の新しい生徒会役員と学級委員の任命を行いましたので紹介します。(敬称略)

役　職	氏　　名
会　　長	(2-1)
２年副会長	(2-2)
１年副会長	(1-2)
２年書記	(2-2)
１年書記	(1-2)

専門部	委員長	副委員長
総務部	(2-2)	(1-1)
学習部	(2-2)	(1-2)
生活部	(2-2)	(1-2)
保体部	(2-1)	(1-2)
文化部	(2-1)	(1-2)
厚生部	(2-2)	(1-1)

学級委員		
１－１		
１－２		
２－１		
２－２		
３－１		
３－２		

選ばれた生徒は選ばれた責任、選んだ生徒は選んだ責任を果たしてほしいと願います。学級や学校がますます楽しく充実するようにそれぞれが活動に主体的に取り組むことを期待します。

※学びを止めない感染症対策　マスク、換気、手洗い、手指消毒に努めましょう。